

| | | | | | | | | | |
|--|--|-------------------------------|---------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----|-------------------------|-----|------|
| 科目名 | 情報系資格対策講座 1 | | | | | | | 年度 | 2026 |
| 英語科目名 | Information system Certification Exams 1 | | | | | | | 学期 | 前期 |
| 学科・学年 | 情報処理科 1年次 | 必/選 | 必 | 時間数 | 30 | 単位数 | 2 | 種別※ | 講義 |
| 担当教員 | 小高、齋藤 | 教員の実務経験 | | 有 | 実務経験の職種 | | システムエンジニア(小高)、プログラマ(齋藤) | | |
| 【科目の目的】 情報活用検定3級および2級の合格を目標とする。 学生はこの検定を通じて、情報活用に必要な基本的なスキルや知識を身につけることが期待されている。 | | | | | | | | | |
| 【科目の概要】 試験を通じて必要な知識や技術を修得し、資格取得に向けた準備を進めることが期待されている。 | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 この授業のガイドラインとして、習熟度を測定し能力を証明するために、情報活用検定3級および2級の合格を目指す。また、情報社会において活躍できる実践的なスキルを修得するため、以下の知識を身につけることを目標とする。 情報の理念、経営戦略とシステム戦略に関する基礎知識、プロジェクトマネジメントに関する基礎知識 パソコンに関する基礎知識、インターネットに関する基礎知識、アプリケーションソフトに関する基礎知識 | | | | | | | | | |
| 【授業の注意点】 この授業では、教科書を必ず持参することが求められる。資格試験に合格するためには、講義時間内の学習だけでは不十分であり、自主的に自宅学習を進めることが重要である。授業中の私語や受講態度には厳しく対応し、理由のない遅刻や欠席は認められない。講義に出席するだけでなく、社会人としてのマナーを守ることも求められる。また、授業の75%以上に出席しない場合、成績評価は行われない。 | | | | | | | | | |
| 評価基準＝ルーブリック | | | | | | | | | |
| ルーブリック 評価 | レベル5 優れている | レベル4 よい | レベル3 ふつう | レベル2 あと少し | レベル1 要努力 | | | | |
| 到達目標 A | 情報表現と処理手順を説明できる | 情報表現と処理手順を理解することができる | 情報表現と処理手順を概ね理解することができる | 情報表現と処理手順をあまり理解できない | 情報表現と処理手順を全く理解できない | | | | |
| 到達目標 B | インターネットの基礎と利用を説明できる | インターネットの基礎と利用を理解することができる | インターネットの基礎と利用を概ね理解することができる | インターネットの基礎と利用をあまり理解できない | インターネットの基礎と利用を全く理解できない | | | | |
| 到達目標 C | パソコンの基礎と情報機器の操作を説明できる | パソコンの基礎と情報機器の操作を理解することができる | パソコンの基礎と情報機器の操作を概ね理解することができる | パソコンの基礎と情報機器の操作をあまり理解できない | パソコンの基礎と情報機器の操作を全く理解できない | | | | |
| 到達目標 D | 情報社会とコンピュータ及び情報モラルを説明できる | 情報社会とコンピュータ及び情報モラルを理解することができる | 情報社会とコンピュータ及び情報モラルを概ね理解することができる | 情報社会とコンピュータ及び情報モラルをあまり理解できない | 情報社会とコンピュータ及び情報モラルを全く理解できない | | | | |
| 到達目標 E | 情報活用検定3級に合格できる | 情報活用検定3級の点数が60%以上 | 情報活用検定3級の点数が50%以上 | 情報活用検定3級の点数が40%以上 | 情報活用検定3級の点数が30%未満 | | | | |
| 【教科書】 情報活用試験2級 公式テキスト | | | | | | | | | |
| 【参考資料】 | | | | | | | | | |
| 【成績の評価方法・評価基準】 学習内容の理解度向上と知識の定着を目的とした課題によって評価する。 積極的な授業参加態度や課題の提出状況に基づいて評価する。 | | | | | | | | | |
| ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。 | | | | | | | | | |

| 科目名 | | 情報系資格対策講座 1 | | | 年度 | 2026 |
|------|---------------|--|--------------------|-----------------------------|------|------|
| 英語表記 | | Information system Certification Exams 1 | | | 学期 | 前期 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| 1 | 情報表現 | 情報手段としてのパソコンの在り方を理解する | 1 情報の適切な選択 | 情報の適切な選択に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 手段の適切な選択 | 手段の適切な選択に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 2 | 処理手順 | 情報手段としてのパソコンの使用法を理解する | 1 情報の収集・伝達 | 情報の収集・伝達に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 問題解決の方法 | 問題解決の方法に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 3 | パソコンの基礎 1 | パソコンの基本構成を理解する | 1 装置と媒体 | 装置と媒体に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 OSの役割 | OSの役割に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 4 | パソコンの基礎 2 | パソコンの基本的構成の取り扱いを理解する | 1 データ保存の形式 | データ保存の形式に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 ファイルの管理 | ファイルの管理に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 5 | インターネットの基礎 1 | インターネットの基本的な仕組みを理解する | 1 インターネットの特徴 | インターネットの特徴に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 プロバイダの役割 | プロバイダの役割に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 6 | インターネットの基礎 2 | インターネットのプロトコルの知識を習得する | 1 TCP/IPの理解 | TCP/IPに関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 プロトコルの理解 | プロトコルに関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 7 | インターネットの利用 | インターネットの利用方法を理解する | 1 ブラウザの利用 | ブラウザの利用に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 電子メールの利用 | 電子メールの利用に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 8 | 情報機器の基本操作 1 | 情報機器の基本操作を理解する | 1 パソコンの基本操作 | パソコンの基本操作に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 情報機器の基本操作 | 情報機器の基本操作に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 9 | 情報機器の基本操作 2 | アプリケーションソフトの種類と目的を理解する | 1 アプリケーションソフトの種類 | アプリケーションソフトの種類に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 アプリケーションソフトの目的 | アプリケーションソフトの目的に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 10 | 情報社会とコンピュータ 1 | 日々の生活とコンピュータの関わりを理解する | 1 身近なコンピュータシステム | 身近なコンピュータシステムに関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 身近なコンピュータシステムの役割 | 身近なコンピュータシステムの役割に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 11 | 情報社会とコンピュータ 2 | コンピュータ上のセキュリティに関して理解する | 1 セキュリティ | セキュリティに関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 高度情報化の問題点 | 高度情報化の問題点に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 12 | 情報モラル | 情報モラルを理解する | 1 情報モラル | 情報モラルに関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 ネットケット | ネットケットに関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 13 | 受験対策 | 過去問題を通して実施 | 1 前回の過去問の実施 | 時間制限無しで実施する | 1 | |
| | | | 2 解説 | 過去問題の理解 | | |
| 14 | 受験対策 | 過去問題を時間計測して実施 | 1 前々回の過去問の実施 | 本番と同じ40分で実施する | 1 | |
| | | | 2 解説 | 過去問題の理解 | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 15 | 受験対策 | 過去問題を短縮時間で実施 | 1 前々々回の過去問の実施 | 時間を短縮して実施することでスピード感を養う | 1 | |
| | | | 2 解説 | 過去問題の理解 | | |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等